

事務局説明資料

2026年3月19日(木)

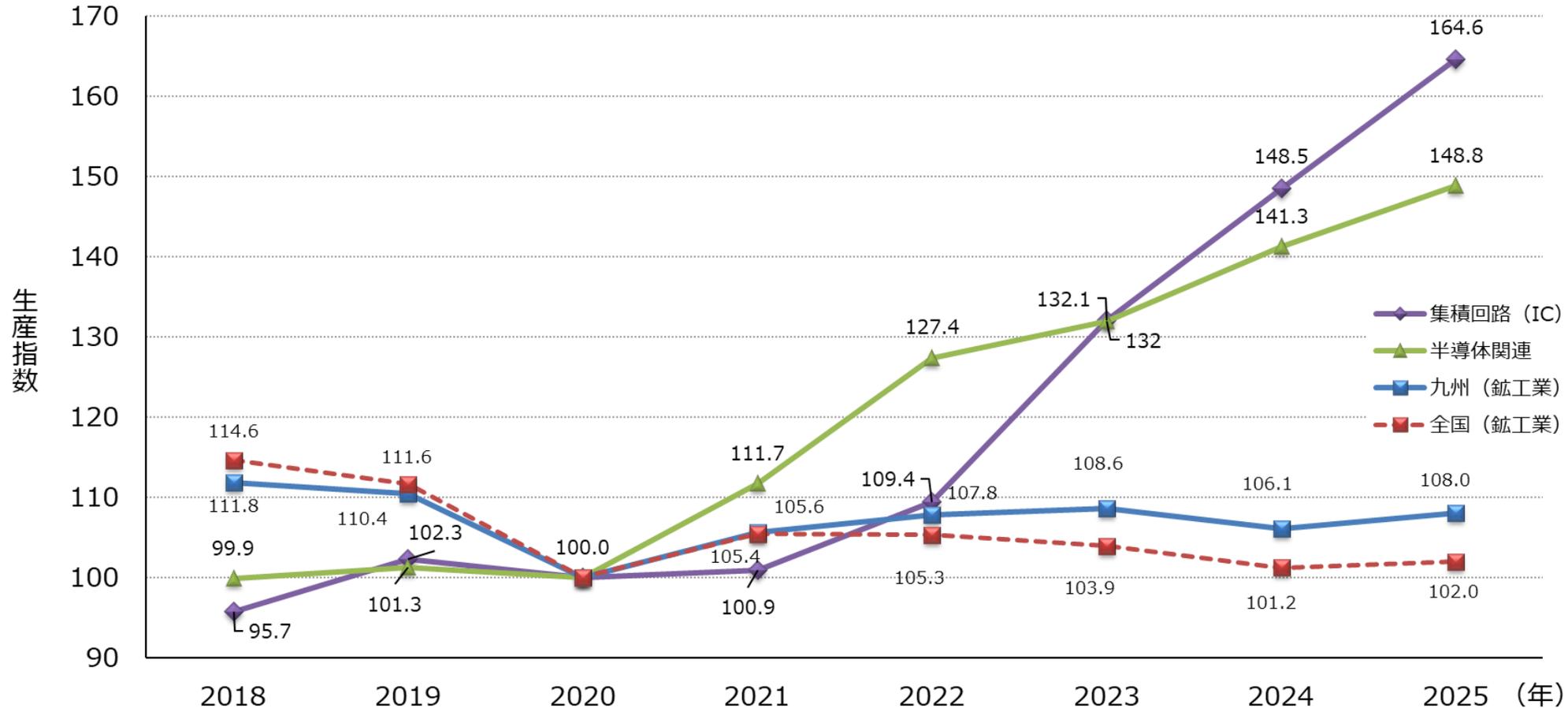
- ◇ **半導体産業の動向について
（全国との比較、九州内の状況）**
- ◇ **九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関**
- ◇ **「コンソーシアム・ナレッジシェア」について**
- ◇ **自治体サブWG開催結果**
- ◇ **第二期活動の検討について**
- ◇ **【参考】コンソーシアム活動の振り返り**

- ◇ **半導体産業の動向について
(全国との比較、九州内の状況)**
- ◇ 九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関について
- ◇ 「コンソーシアム・ナレッジシェア」について
- ◇ 自治体サブWGの開催結果
- ◇ 第二期活動の検討について
- ◇ 【参考】コンソーシアム活動の振り返り

九州の半導体関連産業の動向（生産指数）

- 九州における半導体関連産業は、2020年以降の5年間において、九州域内外の他製造業が1割弱の伸長に対し、IC：6割強、半導体関連産業：5割弱と急激な成長を遂げている。（2020年=100とした生産指数にて算出）

集積回路（IC）及び半導体関連の生産指数の推移（2020年 = 100）



（出典）「生産動態統計調査（経済産業省）」をもとに九州経済産業局作成。2025年は速報値（年間補正前）を使用。

集積回路（IC）：線形IC+モス型IC+混成IC（単位：生産金額）

半導体関連：半導体素子（単位：個数）+半導体部品（シリコンウエハ）（単位：面積）+半導体製造装置（単位：生産金額）+半導体・IC測定器（単位：生産金額）

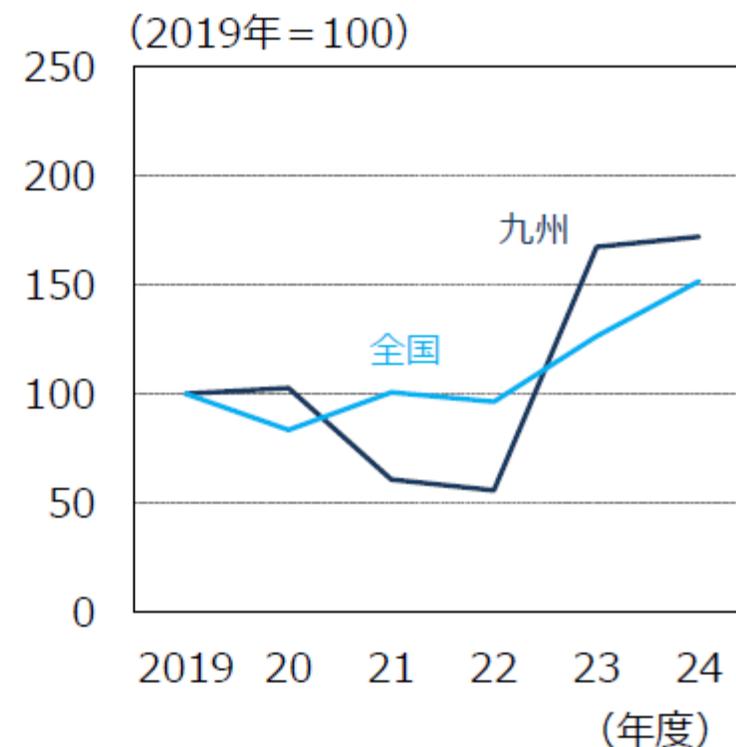
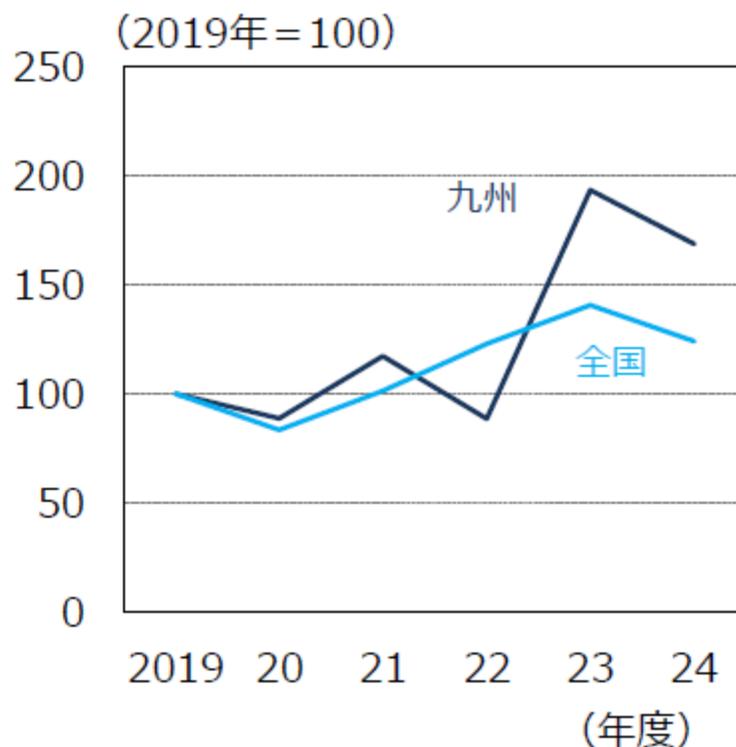
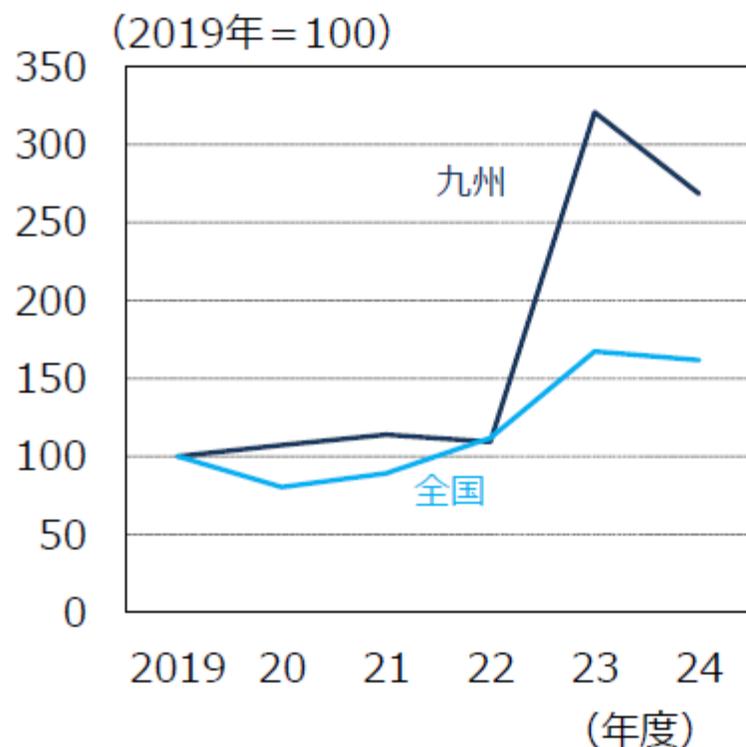
半導体関連設備投資動向の九州と全国の比較

- 九州地域の半導体関連の設備投資は、全国と比べても大幅な伸長を記録。特にTSMC進出表明後の2022年度以降、設備投資が加速。
- 日本政策投資銀行の設備投資計画調査によれば、半導体素材が含まれる非鉄金属の設備投資は2024年には2019年と比較して約3倍、半導体製造や製造装置等が含まれる電気機械や精密機械も同1.5倍超に拡大。

非鉄金属

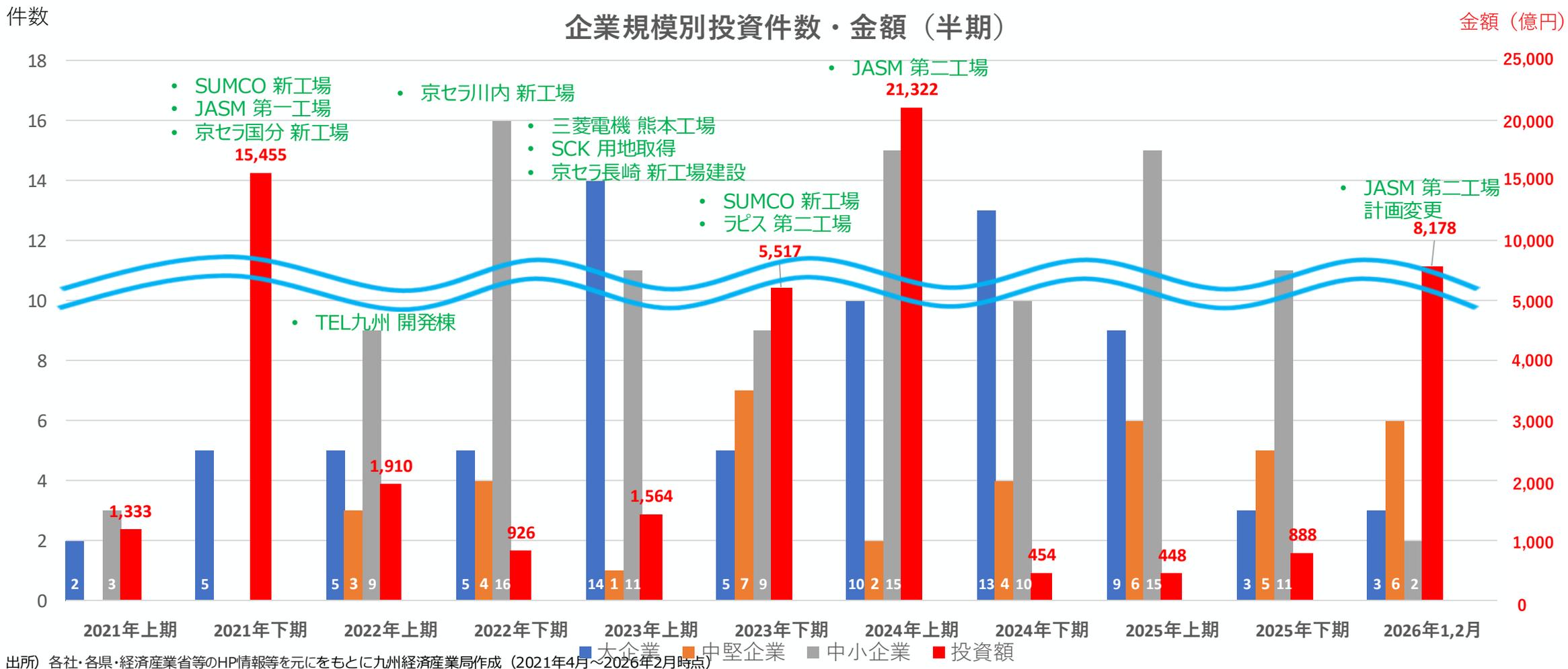
電気機械

精密機械



九州への新規立地・設備投資の動向

- 九州への新規立地・設備投資表明は、JASMの進出表明から4年以上経過した現在でもペースを継続。
- 2021年下期のJASM進出に続き、2022年以降は中堅・中小企業による投資が続く。



九州の半導体産業の動向 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)

企業の主な設備投資計画・立地協定

7県合計231件、5兆7,994億円超 (金額は公表企業分等の合計額)

熊本県

- 富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ(株)
- 第一電材エレクトロニクス(株)
- 日本エア・リキード合同会社
- (株)京写
- 倉敷紡績(株)
- 東京応化工業(株)
- アースアテンド(株)
- 淀川ヒューテック(株)
- (株)JCU
- ▲(株)ディスコ
- ▲Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
- ▲(株)レスターエレクトロニクス
- ▲三菱電機(株)
- ▲ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 熊本TEC
- ▲ルネサスエレクトロニクス(株)
- 日信商工(株)NISCO熊本
- (株)オジックテクノロジーズ
- SUS(株)熊本事業所
- (株)くまさんメディクス
- サンユー工業(株)
- ローツェ(株)
- (株)テクノクリエイティブ
- 応用電機(株)
- (株)ケイ・エム・ケイ
- A S M L
- アブライド マテリアルズ ジャパン(株)
- ラムリサーチ合同会社
- Welsun(株)
- CCTECH JAPAN(株)
- 日本電子材料(株)
- 平田機工(株)
- (株)テラプローブ
- 栄光デザイン&クリエーション(株)
- レイザータクノロジー(株)
- UNISEED TECHNOLOGY(株)
- (株)高田工業所
- 東京エレクトロン九州(株)
- (株)インターアクション
- (株)荏原製作所
- (株)フェローテックホールディングス
- (株)スリーデザイン
- 日本精密電子(株)
- Feedback Technology Japan(株)
- JUcan(株)
- 帆宣テック(株)
- (株)島津製作所
- 長州産業(株)
- ギガフォトン(株)
- 新日本ステンレス工業(株)
- アイシン九州(株)
- リックス(株)
- ダルマエレクトロニクス(株)
- (株)タミコ熊本
- (株)テクノワールド
- (株) 熊防メタル
- テクノワールド(株)
- (株)ビエゾニック
- (株)建大
- 大村技研(株)
- ★NRS(株)
- ★日本マーテック(株)
- ★大陽日酸(株)
- ★ナカヤマ精密(株)
- ★カンケンテクノ(株)
- ★日本通運(株)
- ★DOWAエコシステム(株)
- ★ヒューグルエレクトロニクス(株)
- ★峻川商事(株)
- ★INNOSセミコンダクター(株)
- ★鍵祥資訊
- ★(鍵祥資訊日本(株))
- ★サーバス工業(株)
- ★日総工産(株)
- ★一宮運輸(株)
- ★郵船ロジスティクス(株)
- ★鴻池運輸(株)
- ★日研トータルソーシング(株)
- ★(株)明和テック
- ★兼松エレクトロニクス(株)
- ★ジャパンマテリアル(株)
- ★(株)SCREENSPEサービス
- ★Hermes-Epitek Japan(株)
- ★カリソー九州(株)
- ★DHLサプライチェーン(株)
- ★有限会社林商店 (株)林倉庫
- ★(株)ワールドインテック
- ★デルタ電子(株)
- ★チャイナエアライン
- ★(株)永井運送
- ★合同会社デロイト トーマツ
- ★エア・ウォーター(株)
- ★(株)テック・エンジニアリング
- ★日本GLP(株)
- ★LIYEI日本(株)
- ★佐川グローバルロジスティクス(株)
- ★DSV(株)
- ★(株)サンソニック
- ★(株)マツナガ
- ★加賀電子(株)
- ★九州プラスチック工業
- ★(株)日新
- ★(株)スズキ
- ★(株)ティーエヌ運輸倉庫
- ★西日本鉄道(株)・戸田建設(株)・東京建物(株)
- ★JA三井リース九州(株)
- ★東部ネットワーク(株)
- ★九州旅客鉄道(株)
- ★プラスチック加工興和(株)
- ★ククレブ・アドバイザーズ(株)
- ★ノースエンジニアリング
- ★(株)サイバーレコード

長崎県

- SUMCO TECHXIV(株)
- クアーズテック合同会社
- 中興化成工業(株)
- 京セラ(株)
- エア・ウォーター西日本(株)
- ▲ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 長崎TEC
- (株)インターアクション
- 北川精機(株)
- 湯川王冠(株)
- ★伸和コントロールズ(株)
- 中野鉄橋(株)

佐賀県

- (株)SUMCO
- 北原ウエルテック(株)
- (株)ワイ・デー・ケー九州
- ★(株)岡本工作機械製作所
- ★田口電機工業(株)
- ★福岡酸素(株)
- ★ESR(株)
- ★福岡地所(株)
- ★(株)シーアールイー
- ★九州産交運輸(株)
- ★Heitman LLC
- ★三菱HCキャピタルリアルティ(株)
- ★SMFLみらいパートナーズ(株)
- ★株式会社シーアールイー
- ★株式会社プロロジス

福岡県

- 九州住友ベークライト(株)
- 三菱ケミカル(株)
- 双日(株)・メキシケムジャパン(株)
- メック(株)北九州工場
- ネグロス電工(株)
- 三井金属(株)
- デンカ(株)
- ▲三菱電機(株)パワーデバイス製作所
- ▲ローム・アポロ(株)筑後工場
- ▲(株)アムコー・テクノロジージャパン
- 日本ファインテック(株)宮若工場
- 日本ファインテック(株)岡垣工場
- 西部電機(株)
- (株)テクノクリエイティブ
- 家登精密工業股份有限公司
- 東京エレクトロン九州(株)
- (株)アドウェルズ
- アサヒエンジニアリング(株)
- トーカロ(株)
- (株)マルマエ
- ★(株)ヒサノ
- ★アマタホールディングス(株)
- ★日本通運(株)
- ★アズワン(株)
- ★(株)エアワールド
- ★ヘッドスプリング(株)
- ★サンワマテリアルソリューションズ(株)
- ★(株)ダイセキ
- ★野村不動産(株)
- ★(株)日新

大分県

- 富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ(株)
- ▲ルネサスエレクトロニクス(株)大分工場
- ▲(株)デンケン
- ▲フジボウ愛媛(株)
- ▲(株)ジャパンセミコンダクター
- ▲大分デバイステクノロジ(株)
- (株)佐々木精工
- エスティケイテクノロジ(株)
- (株)AKシステム
- (株)戸高製作所
- (株)エリア
- ★(株)スズキ

宮崎県

- ▲吉川工業アールエフセミコン(株)
- ▲ローム(株)ラビスセミコンダクタ(株)
- ▲吉川工業(株)
- (株)中園工業所
- 有限会社花菱精板工業
- 旭有機材(株)

鹿児島県

- 京セラ(株)国分工場
- (株)アルバック
- 住友金属鉱山(株)
- (株)サイコックス大口工場
- 京セラ(株)鹿児島川内工場
- ▲フェニテックセミコンダクター(株)鹿児島工場
- (株)プレシード
- マイクロカセット(株)
- (株)ステップ
- 東フロッコポーレーション(株)
- ★(株)SDAT

- 素材
- ▲前工程・後工程
- 装置関連
- ★物流・人材・その他

- ◇ 半導体産業の動向について
（全国との比較、九州内の状況）
- ◇ **九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関について**
- ◇ 「コンソーシアム・ナレッジシェア」について
- ◇ 自治体サブWGの開催結果
- ◇ 第二期活動の検討について
- ◇ 【参考】コンソーシアム活動の振り返り

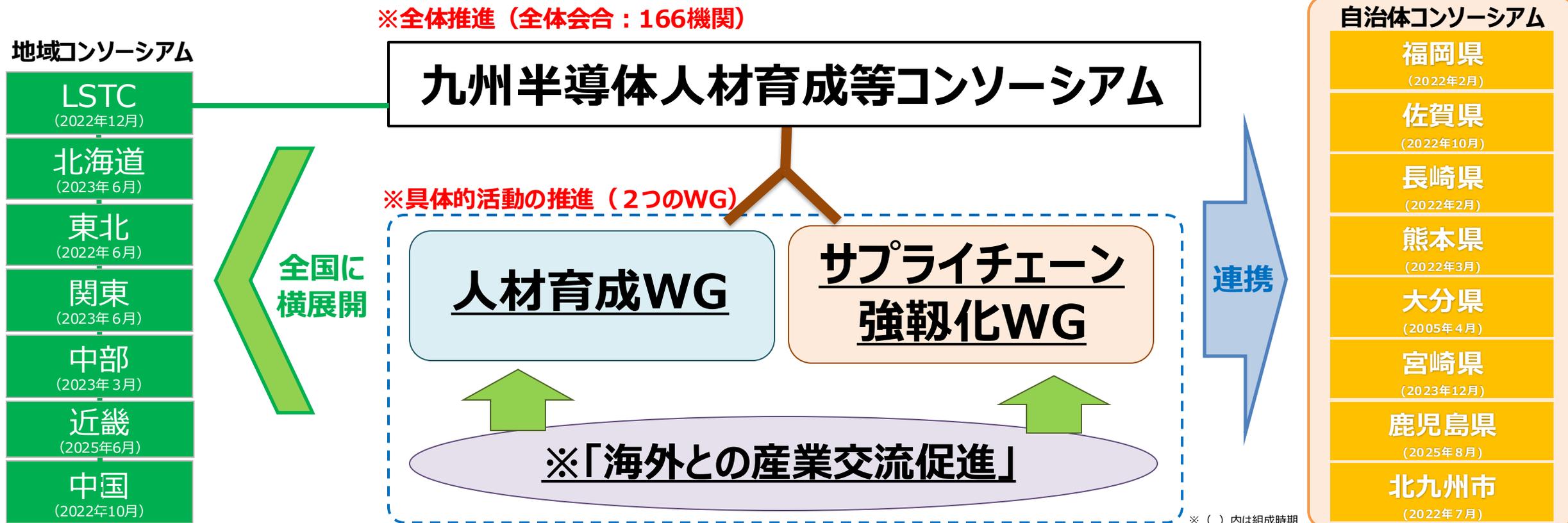
九州半導体人材育成等コンソーシアム

- 「半導体人材の育成・確保」「サプライチェーン強靱化」等を目的に、2022年（令和4年）3月設立（45→166機関※）
- 全体会合では、活動の方向性を決定。各機関による取組を共有し、連携を促す。
- 個別具体的な活動の企画立案・実行は、ワーキンググループ（WG）が担う。

※2026年3月10日時点

【活動の方向性】

- 1) 半導体人材の育成・確保（WG）
- 2) 半導体大手と地場・ユーザー企業との取引強化（WG）
- 3) 海外との産業交流促進



※（ ）内は組成時期
九州経済産業局も参画

新規構成機関（ご紹介）

- 九州半導体人材育成等コンソーシアムは、166機関の産・学・官・金で構成。 ※2026年3月10日時点
- 第7回会合以降に新規に参画した構成機関は以下の11機関（産業界：11）

参画日	産学官金	構成機関名	所在地	業種等	参加WG
10月16日	産業界	木村情報技術株式会社	佐賀県	情報通信業	人材
11月25日	産業界	日本通運株式会社	東京都	運輸業	SC
11月26日	産業界	マーシュジャパン株式会社	東京都	保険業	SC
11月26日	産業界	マーシュ総研株式会社	奈良県	コンサルティング	SC・人材
11月28日	産業界	マーサージャパン株式会社	東京都	コンサルティング	人材
12月15日	産業界	ノリタケ株式会社	愛知県	総合セラミックメーカー	SC
12月22日	産業界	株式会社総合キャリアオプション	東京都	人材サービス	人材
3月3日	産業界	株式会社電通九州	福岡県	広告業	SC・人材
3月4日	産業界	日本マイクロソフト株式会社	東京都	IT業	SC・人材
3月4日	産業界	株式会社九州エフ・シー・シー	熊本県	自動車部品製造業	SC・人材
3月5日	産業界	株式会社エフ・シー・シー	静岡県	自動車部品製造業	SC・人材

○九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関一覧

※赤字は2026年10月16日以降に追加された構成機関
 ※太字は当初メンバー。区分毎に五十音順（行政機関除く）

産業界	1	旭化成エレクトロニクス株式会社
	2	旭化成マイクロテクノロジー株式会社
	3	株式会社アスカインデックス
	4	アドバンスソフト株式会社
	5	株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン
	6	株式会社アルプス物流
	7	株式会社ウイルテック
	8	エア・ウォーター株式会社
	9	株式会社エイジェック
	10	エスアイユー株式会社
	11	SMC株式会社
	12	NRS株式会社
	13	株式会社荏原製作所 熊本事務所
	14	株式会社エフ・シー・シー
	15	NTTドコモビジネス株式会社
	16	株式会社オジックテクノロジーズ
	17	九州電子株式会社
	18	株式会社九州エフ・シー・シー
	19	木村情報技術株式会社
	20	株式会社九州日新
	21	株式会社近鉄ロジスティクス・システムズ
	22	株式会社くまさんメディクス
	23	計測エンジニアリングシステム株式会社
	24	興研株式会社
	25	櫻井精技株式会社
	26	株式会社SUMCO
	27	株式会社SANMATSU
	28	株式会社ジーダット
	29	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
	30	株式会社ジャパンセミコンダクター
	31	JSR株式会社
	32	株式会社スズキ
	33	株式会社スタッフサービス
	34	株式会社総合キャリアオプション
	35	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
	36	株式会社タケシタ
	37	田中藍株式会社
	38	田中電子工業株式会社
	39	中央電子工業株式会社
	40	TXOne Networks Japan合同会社
	41	株式会社テラプローブ
	42	株式会社デンケン

産業界	43	株式会社デンソー
	44	株式会社電通九州
	45	東京エレクトロン九州株式会社
	46	東京応化工業株式会社
	47	東芝情報システム株式会社
	48	東洋ワーク株式会社
	49	豊田通商株式会社
	50	株式会社西村ケミテック
	51	日研トータルソーシング株式会社
	52	日清紡マイクロデバイスAT株式会社
	53	日総工産株式会社
	54	日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所
	55	日本マイクロソフト株式会社
	56	日本シノプシス合同会社
	57	日本通運株式会社
	58	株式会社日本マイクロニクス
	59	ノリタケ株式会社
	60	株式会社ヒサノ
	61	株式会社日出ハイテック
	62	平井精密工業株式会社
	63	株式会社平山GL
	64	株式会社ピーエムティー
	65	フジアルテ株式会社
	66	株式会社藤田ワークス
	67	株式会社BREXA Next
	68	マーシュジャパン株式会社
	69	マーシュ総研株式会社
	70	マーサージャパン株式会社
	71	マイクロカット株式会社
	72	株式会社マイスティア
	73	株式会社マイナビ
	74	三井不動産株式会社
	75	三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
	76	三菱マテリアル株式会社
	77	株式会社 安川電機
	78	UTエイム株式会社
	79	横河ソリューションサービス株式会社
	80	吉川工業株式会社
	81	ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場
	82	ラムリサーチ合同会社
	83	リクルーティング・パートナーズ株式会社
	84	ルネサスエレクトロニクス株式会社

○九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関一覧

産業界	85	株式会社リョーサン
	86	ロジスティード九州株式会社
	87	株式会社ワールドインテック
教育機関	88	学校法人岩崎学園
	89	国立大学法人大分大学
	90	開新高等学校
	91	国立大学法人鹿児島大学
	92	北九州工業高等専門学校
	93	国立大学法人九州工業大学
	94	九州産業大学
	95	九州職業能力開発大学校
	96	国立大学法人九州大学
	97	学校法人近畿大学 産業理工学部 (福岡キャンパス)
	98	熊本県立技術短期大学校
	99	熊本県立熊本工業高等学校
	100	学校法人開新学園 熊本工業専門学校
	101	熊本高等専門学校
	102	国立大学法人熊本大学
	103	久留米工業大学
	104	独立行政法人国立高等専門学校機構
	105	国立大学法人佐賀大学
	106	佐世保工業高等専門学校
	107	崇城大学
	108	第一工科大学
	109	東海大学熊本キャンパス
	110	長崎県立長崎工業高等学校
	111	国立大学法人長崎大学
	112	学校法人西日本工業大学
	113	学校法人福岡大学
	114	学校法人福岡工業大学
	115	熊本県立水俣高等学校
	116	都城工業高等専門学校
	117	国立大学法人宮崎大学
118	柳商学園 柳川高等学校	
119	福岡県立八女工業高等学校	
120	立命館アジア太平洋大学	
121	学校法人 早稲田大学 情報生産システム研究センター	
行政機関	122	福岡県
	123	佐賀県
	124	長崎県

※赤字は2026年10月16日以降に追加された構成機関
 ※太字は当初メンバー。区分毎に五十音順 (行政機関除く)

行政機関	125	熊本県
	126	大分県
	127	宮崎県
	128	鹿児島県
	129	北九州市
	130	福岡市
	131	熊本市
	132	財務省長崎税関
	133	文部科学省
	134	国土交通省九州運輸局
	135	国土交通省九州地方整備局
	136	経済産業省 (本省)
金融機関	137	株式会社大分銀行
	138	株式会社熊本銀行
	139	株式会社佐賀銀行
	140	株式会社十八親和銀行
	141	株式会社西日本シティ銀行
	142	株式会社日本政策金融公庫
	143	株式会社日本政策投資銀行九州支店
	144	株式会社福岡銀行
	145	株式会社肥後銀行
	146	株式会社三菱UFJ銀行
	147	株式会社宮崎銀行
	148	株式会社山口フィナンシャルグループ
	149	大分県LSIクラスター形成推進会議
	150	かごしまモノづくり推進協議会
	151	一般財団法人日本気象協会 九州支店
	152	公益財団法人北九州産業学術推進機構
	153	一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
	154	公益財団法人九州経済調査協会
155	一般社団法人九州経済連合会	
協力機関	156	公益財団法人九州先端科学技術研究所
	157	一般財団法人熊本県工業連合会
	158	公益財団法人佐賀県産業振興機構
	159	国立研究開発法人産業技術総合研究所 九州センター
	160	SEMIジャパン
	161	公益社団法人全国学習塾協会 九州・沖縄支部
	162	独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部
	163	一般社団法人電子情報技術産業協会
	164	独立行政法人日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター
	165	公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
	166	明倫国際法律事務所

- ◇ 半導体産業の動向について
（全国との比較、九州内の状況）
- ◇ 九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関について
- ◇ **「コンソーシアム・ナレッジシェア」について**
- ◇ 自治体サブWGの開催結果
- ◇ 第二期活動の検討について
- ◇ **【参考】コンソーシアム活動の振り返り**

「コンソーシアム・ナレッジシェア」運用開始

課題

構成機関から、多くの連携要望をいただいている一方、担当者の属人的なつながりによる紹介・マッチングにとどまっている状況。

対策

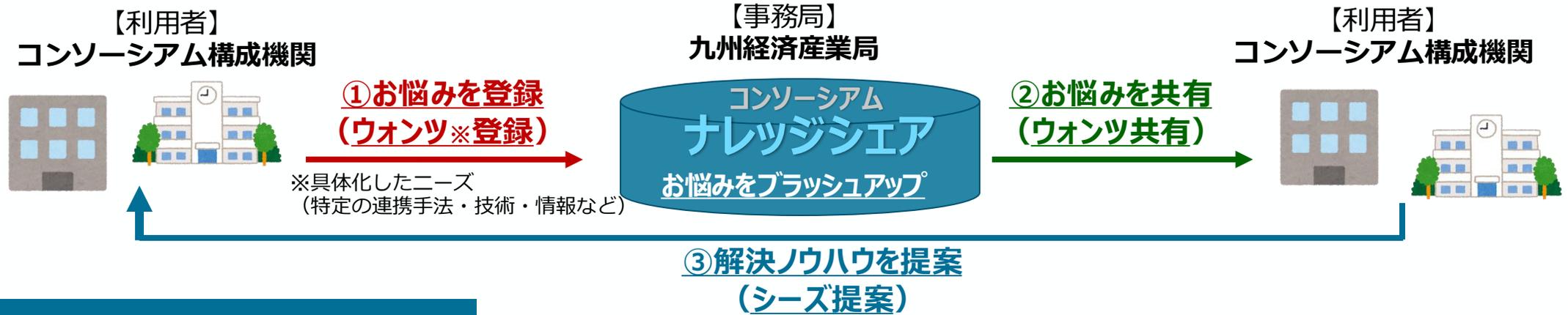
有益な情報、経験、事例、ノウハウ等の付加価値のある知識や情報の収集・整理・可視化等を行い、コンソーシアム構成機関間の連携促進を強化していく。

目的

顕在・潜在ニーズ（Needs）から導き出される「ウォンツ（Wants）」と「シーズ（Seeds）」の融合によるオープン・イノベーションの実現。

利用手順のイメージ（ウォンツ先行共有型）

- ・事務局（運用・ナレッジ精査・共有）：九州経済産業局情報政策課
- ・利用者（ナレッジ登録・利用）：コンソーシアム構成機関の全ての者



今後のスケジュール（予定）

- 2026年4月～：「コンソーシアム・ナレッジシェア」を試行的に運用スタート
- 2026年4月～5月：試行運用（1）「ウォンツ具体化期間」（自らの対応したい課題を棚卸・深掘しウォンツを具体化、ウォンツのみ登録受付）
- 2026年6月～：試行運用（2）「ウォンツ先行共有型」（ウォンツに紐づくシーズ提案から始め連携素地を構築、ウォンツのみ共有）
- 2026年下期～：本格運用「ウォンツ・シーズ同時共有型」（ウォンツとシーズを同時に登録・共有、自由度高い連携・イノベーションを促進）

- ◇ 半導体産業の動向について
（全国との比較、九州内の状況）
- ◇ 九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関
- ◇ 「コンソーシアム・ナレッジシェア」について
- ◇ **自治体サブWGの開催結果**
- ◇ 第二期活動の検討について
- ◇ 【参考】コンソーシアム活動の振り返り

自治体サブWG

設置目的

- 九州半導体人材育成等コンソーシアムに参画する自治体（7県、北九州市、福岡市、熊本市）と相互情報共有を円滑に行い、各取組の更なる進展・拡大に繋げることを目的に、人材育成WG及びSC強靱化WG傘下に設置。



開催結果

- 2025年度は、全3回の会合・意見交換会（SC強靱化は2回）を開催し、担当者間のネットワーキング構築に寄与。
 - ・第1回会合（2025年5月21日）
 - ・人材育成事業に関する意見交換会（2025年9月3日）
 - ・第2回会合（2026年2月3日）
- 九州半導体コンソ主催事業の「産学ミートアップ事業・教員向け研修会」や「チャレンジマーケット」の各県開催**や、「台湾との商談会(大分県LSI・熊工連が主催)」への他県からの参画等について提案し、課題や要望を議論。
- 自治体視点では、いずれの取組も越県企業を支援することの制約等を踏まえ、**九州半導体コンソ主導のもと、引き続き自治体コンソと適宜連携しながら継続実施**していく。

2026年度以降の予定

- 両WG傘下サブWGとしての会議体運用を見直し、九州半導体コンソ事務局主導でネットワークを維持した上で、各自治体との柔軟な情報共有や連携はこれまでどおり継続していく。

- ◇ 半導体産業の動向について
（全国との比較、九州内の状況）
- ◇ 九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関
- ◇ 「コンソーシアム・ナレッジシェア」について
- ◇ 自治体サブWGの開催結果
- ◇ **第二期活動の検討について**
- ◇ 【参考】コンソーシアム活動の振り返り

九州半導体人材育成等コンソーシアム 第二期活動の検討

第二期活動の方針の策定

- 2022年（令和4年）3月に設立したコンソーシアムは、2026年度をもって第一期（5年）が終了。
- 九州の半導体産業を取り巻く状況は、コンソ設立以降に大きく変化。
- 第二期活動の方向性や行動計画は、昨年度に策定した中期行動計画等をベースに検討。
- 検討に際しては、規約に基づき幹事を選定し、幹事会を開催して議論を行う。

Mission : コンソーシアムの使命

半導体で豊かな未来社会を九州から実現する

Vision : コンソーシアムが目指す姿（なりたい状態、あるべき姿）

- ・多様な半導体人材が集い生き活きと活躍する九州
- ・半導体とともに歩み成長を続ける九州
- ・グローバルな半導体エコシステムの一翼を担う九州

Value : コンソーシアムがもたらす価値

（やるべきこと、共通の価値観、行動指針）

- ・半導体の魅力発信と人材育成を担う産学官金プラットフォーム
- ・産業競争力の強化に資する半導体バリューチェーン
- ・半導体産業の発展に貢献する九州から世界へのクロスポイント

幹事の選定

- 代表幹事が九州半導体人材育成等コンソーシアム規約 第4条に基づき幹事を選定。
- 幹事の選定は、業界や事業規模などを考慮して実施。
- 幹事の任期は1年とし、幹事会において行われる議論に参加することができる。

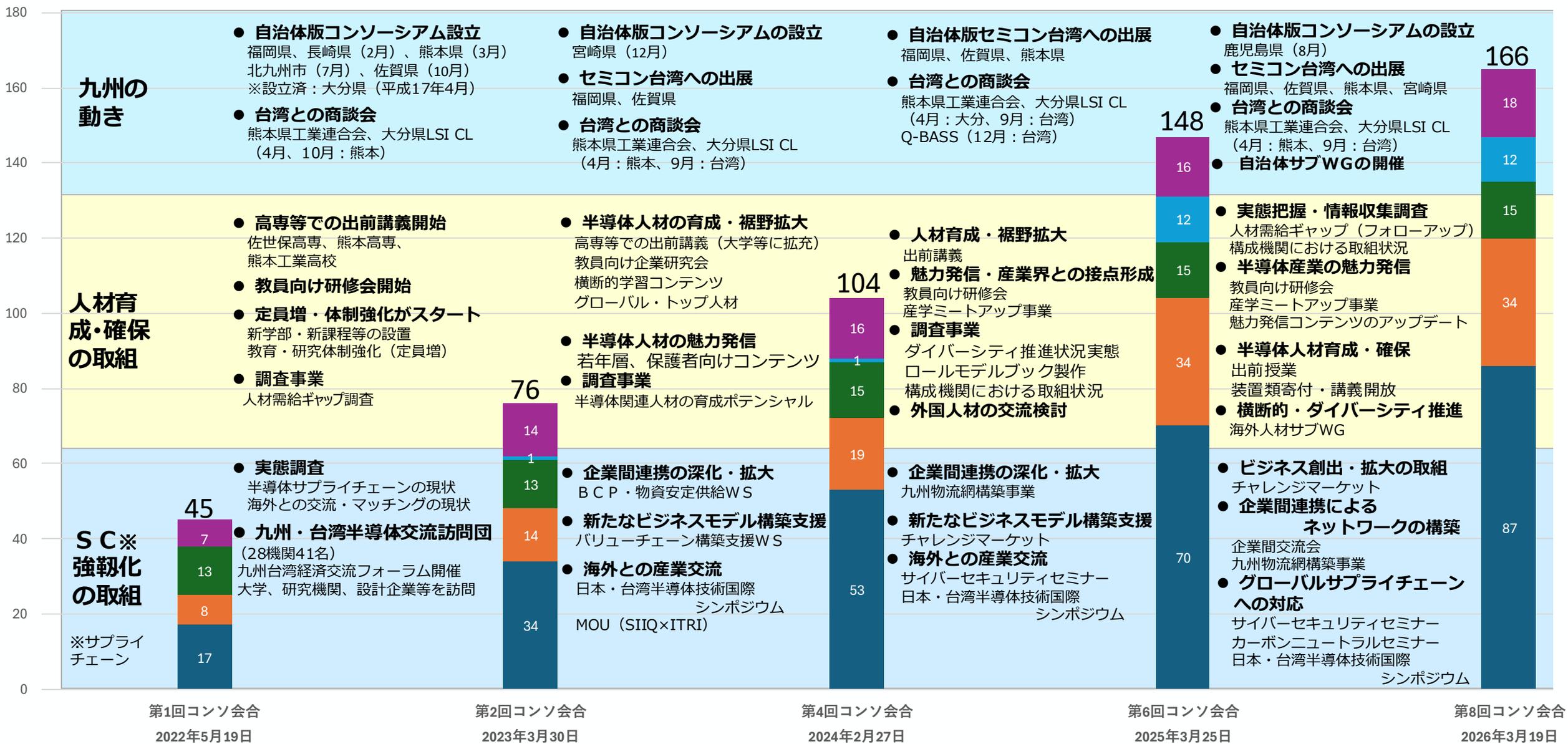
幹事会の設置

- 幹事会は、代表幹事が九州半導体人材育成等コンソーシアム規約 第4条に基づき設置。
- 幹事会では、これまでのコンソーシアム活動の振り返りと2027年度以降の中期的な活動の方向性や取組内容について議論を実施、本年秋の第9回会合に進捗状況を報告。
- 2027年に開催予定の第10回会合において、第二期の方向性や行動計画の公表を予定。

- ◇ 半導体産業の動向について
（全国との比較、九州内の状況）
- ◇ 九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関
- ◇ 「コンソーシアム・ナレッジシェア」について
- ◇ 自治体サブWGの開催結果
- ◇ 第二期活動の検討について
- ◇ **【参考】コンソーシアム活動の振り返り**

【参考】コンソーシアム活動の振り返り

機関数



■ 産業界 ■ 教育機関 ■ 行政機関 ■ 金融機関 ■ 協力機関